



きたおか こうむてん

北岡工務店 ニュース



予告 ☆毎年恒例☆ ☆第4回☆

「とんかち祭り」

3月26日(土)に行ないます。お楽しみに!

地震の怖さを思い出しましょう!

平成7年1月17日 阪神・淡路大震災が起きました。今年で10年が経過しました。死者6,401名 行方不明者3名 負傷者40,092名 家屋被害448,930世帯 全壊・全焼・半壊・半焼 248,412棟とたくさんの犠牲と被害がでました。

平成16年10月23日には、震度6強の新潟中越地震が起こり、今も毎日のようにニュースで報道されています。住人は仮設住宅や、被害のあった住宅に戻り不安と不自由な生活を送っておられます。



いつ起こるかわからない自然災害に対する怖さを決して忘れてはいけません。

そして皆様にも改めてこの怖さを思い出し、**災害で失った数多くの命を無駄にしないよう、一人一人がその事について真剣に考える事が大切だ**と思います。

家とは何か?

今回の震災で改めて家の在り方について考え、何のための家かを問い直して見る必要性を強く感じました。**人間生活の営みの中で、最も大切なもの**の一つであり、おそらく人の買い物の中で最も高価なものが家だと思えます。

その家に関して、先人達が何千年も英知を傾け、工夫を凝らし現在の「形のいい」「使い勝手が良い」「暖かな」「快適な」住宅と言われる家が実現してきました。

単に『雨露をしのぐため』から『外敵から生命や財産を守るため』更に今回のような『災害や台風などの猛威からも身を守る役割』を担って参りました。

大震災の経験が生かされたこと！

阪神淡路大震災後、**建築基準法改正**により、構造的には地震や台風などの災害に対して、世界的に誇れるような極めて強い基準が制定されました。この建築基準を遵守した木造軸組住宅は、阪神大震災クラスの地震に対して無事であることが立証されています。

ただし、いくら耐震性能を備えた住宅であっても、それを支えている**地盤・基礎がしっかり**してなければ何なりません。

また、**家具や備品の取り付け方、設備機器の取り付け強度**については、**建築基準法の規制がないので地震対策は、各自再確認**してみましょう。



『壊れなかった家』

阪神淡路大震災で、辺り一面殆ど家が倒壊している中、一軒だけぼつんと無傷の家があったそうです。外壁はモルタル塗りで2階建ての木造の住宅、ある工務店の社長の家でした。

なぜ壊れなかったのでしょうか？

きっと工務店の家ということは、**施主・設計者・現場の最高責任者（棟梁）全てが社長という同一人物**だったからだと思います。

今までの経験を生かし匠の技をたくさん駆使し、建築中不都合があれば、すばやく修正・改良したからだと思います。

最近の多くの住宅建築（特に都会）は、

- ① 設計事務所が設計して、いくつかの工務店が見積書を提出し、指名を受けた工務店が現場に入り、設計者の言う通りに（そうせざるを得ない）住宅を建築する。
- ② 設計施工で建設するが、設計は設計部、現場はその担当者が受け持ち、設計者・現場責任者は完成するまで、数えるほどしか現場に来ない。（大手メーカーに多い）

この2パターンが殆どだと思います。

万が一 何かがあった場合、

設計者や会社は、全て施工した職人の責任にします。

（本当は**自分の管理不足も責めるべき**なのに…）

職人は、設計者が悪いと言います。

（本当は**建築中に不都合を設計者に意見すべき**なのに…）

設計者や大手メーカーが全て悪いわけではなく、全ての分野に責任を持とうとする人間がないのが現状です。

何もわからず家を引き渡された施主は、その後何十年もその家に住むのですよ？



ですから、**設計・現場・アフターサービスに至るまですべて同一人物が、責任持って工事にあたる**ことが**重要**なのです。1人ではなく、2～3人が同時に行動し意見疎通ができていればそれでも良いと思います。

その人間（達）とお客様との二人三脚がうまくいってこそ、住宅建築なのです。

『ファースの家』って吸震構造ってご存知？

弊社では、『**ファース工法**』を行なっております。

一般的な住宅では、土台と基礎が接合される構造となっておりますが、『ファース工法』では、基礎と土台の間にスペーサー（コープレート）を設置し、その隙間に**エアライト（専門業者の責任施工による、現場スプレー発砲の専用断熱材）**を充填する構造となっており、壁の柱・間柱の間にも、エアライトを吹き付けられます。

エアライトは**接着性能が高く、隙間や継ぎ目、性能劣化もなく高気密・高断熱を維持し続けます**。またスポンジに似て、振動を吸収する効果があり、従って『ファースの家』は建物全体で地震の揺れを吸収する構造となっております。

過去の大きな地震においては、『ファースの家』での大きな被害が無かったと言う事は、地震に強い住宅と言っても過言ではありません。

『**ファースの家**』は**地震に強い**と言うことは証明されましたが、**万が一のために防災の準備と心構えは必要**です。



☆ 知って得する知恵袋 ☆

『はみがき粉』のパワー

★ ガラスがピカピカ ★

グラス・窓・小物のアクセサリー・腕時計の文字盤など良く見ると細かい傷がついています。こんな擦り傷に良く効くのが、はみがき粉なのです。ガーゼにつけて伸ばしてゆっくり磨いて乾燥させます。それを何度か繰り返すと、傷も目立たなくなり、黒ずみや汚れがすっきり取れきれいになります。

★ ステンレスもピカピカ ★

この技は、ステンレスの流し台にも使えます。驚くほどきれいになります。蛇口なんかピカピカ！一度試して見て下さい。ミントの香りもさわやかです。

★ 銀製品もピカピカ ★

銀製品の黒ずみ取りにもいいんです。でもメッキのものや、塗装された製品は、磨くとはげる恐れがあるので要注意が必要です。

当工務店では、省エネ住宅（オール電化・高性能住宅）の中のファース工法を推進しております。天然素材を使用し、新築・増改築から棚板一枚まで承りますので、お気軽にご連絡下さい。

有限会社 北岡工務店

ご質問は
建設マスター
北岡好夫まで！

930-0916 富山市向新庄町8丁目4番56号
Tel 076-451-5262 Fax 076-451-4325

携帯番号 090-3764-9328 (北岡)

ライフガード 代理店

E-mail kitaoka@sirius.ocn.ne.jp

URL <http://kitaoka-k.com/>

防災・防犯フィルムのお見積りは随時無料です。
どうぞ お気軽にご相談下さい！